

陸奥新報

県内事業所の外国人雇用は約 15%、6割が今後検討

25.03.01

青森県は28日、外国人労働者の雇用に関する実態調査結果を公表した。県内事業所で外国人労働者を雇用しているのは約15%にとどまる一方、雇用していない事業所の6割が「雇用を検討中・検討したい」と回答した。外国人労働者を増やし定着するためには、手続きや生活面への支援を求める声が多く、県は受け入れ窓口の設置や環境づくりの補助金といったサポートを進める。

県企画調整課によると調査は昨年12月、県内2000事業所を対象にインターネット形式で行い、947事業者が回答(回収率47・35%)した。

それによると「人材を確保できていない」「確保できているが将来に不安」との回答が9割を占め、福祉や建設業、小売業で割合が高かった。

労働者を確保するため新卒採用以外の手段を三つまで尋ねたところ、「中途採用の促進」が84・2%で最も高く、次いで「定年延長やシニア世代の雇用」が36・9%だった。「外国人労働者の雇用」は13・4%にとどまり、消極的な姿勢も浮き彫りとなった。

一方、外国人労働者の雇用について「していない」は85・4%で、そのうち60・1%が「雇用を検討中・検討したい」とした。

八戸工業大学：特定技能エンジニアプログラム 入校式を実施

25.05.16

本学では昨年4月から「八戸工業大学外国人特定技能エンジニアプログラム」を開設し、留学生の特定技能1号試験合格を支援してきました。今年度もミャンマーから留学生を受け入れ、試験合格に向けた講義を展開します。前期(5月～9月)は、建設分野と自動車整備分野あわせて10名の留学生が入校しました。



5月16日(金)に入校式を実施。教職員、内定先企業の関係者などが出席し、入校を祝福しました。船崎学長は挨拶冒頭、「မင်္ဂလာတစ်ခင်းပြုပါ။ (おはようございます)」とミャンマー語を披露。入校を歓迎するとともに、充実した日々を送り目標を達成することを願いました。続いて、入学生を代表して自動車整備分野のリンゾウ カインさんが挨拶しました。「初めてのことに不安もあるが、それ以上に楽しみな気持ち強い」と話し、今後の授業や就業に熱意を示しました。

青森県「企業向け留学生採用セミナー／交流会」を 開催へ

25.06.19

「優秀な人材がほしい。」そんな企業の皆様
留学生の採用を考えてみませんか？



令和7年度
留学生採用セミナー

留学生は豊かなポテンシャルを持つ貴重な人材です。

現在、青森県内では約400人の留学生が学んでいます。外国語に長け、日本の文化や言語に対する理解もある留学生は、多様なバックグラウンドや視点を持ち、その異文化適応力や新しい環境での挑戦力は、変化の激しいビジネス環境で、企業にとっても強みとなります。

人手不足がますます深刻化していく中、このセミナーでは優秀な労働力を確保する一つの手段として、外国人材の必要性や採用事例を学ぶことができます。

こんな企業様にオススメ！

- ・国際に関わり優秀な人材を雇用したい。
- ・海外展開を見据えて外国語を話せる人材がほしい。
- ・留学生の採用について幅広く学んでみたい。

日 時 7月4日（金）13:30～15:30

場 所 アスバム8階「しらかみ」
（青森市安方1-1-40）及びオンライン

対 象 県内企業、関係団体、市町村等

参加費 無料

申込み 下記リンクもしくはQRコードからお申し込みください。 <https://aomori.jp/>

内 容

- ① 基調講演
「労働力人口の動向と 外国人材の必要性」
国立社会保険・人口問題研究所
国際関係部長 藤川 夕 氏
- ② 事例紹介
北日本造船株式会社(船造業)
株式会社コンシス(情報サービス業)
株式会社三沢炭入選鉱光開採(石炭業)
- ③ 情報提供
「企業・外国人材の採用・育成定着支援」
JETRO 知的資産部 高度外国人材課
課長 吉田 悠昌 氏

主 催 青森県、JETRO青森

青森県総合政策部
総合政策課

所在地 | 020-8570 青森県庁内 | 1-1
〒030-0845 青森市中央1-1-1 | aomori@pref.aomori.lg.jp



青森県では、労働力確保対策の一環として高度人材としての留学生等の県内就職促進に取り組んでおり、これに関連して企業向けのセミナー等を開催します。留学生と県内企業とのカジュアルな交流会です。就職を考えている留学生の皆様、優秀な人材をお探しの企業の皆様、お気軽にご参加ください！